

地域
プロジェクト

MIMIZ

学生が描く“函館のいま”

住む人、物、産業
「函館に生きるモノ」を大調査



私たちの毎日を守る-税関-
みんな知ってる？函館のゆるキャラ
函館の未来を繋ぐ若者
函館だけのワイン いかがですか？
小さな命と素敵な出会い
函館を音楽で盛り上げよう！

No.12
WINTER

M I M I Z

ミミズの生き物としての特徴に倣い、それを理想とする活動を行う。

1. 地面を這う……現場に密着して地域を見る
2. 地中に潜る……物事を掘り下げて調べる
3. 良い土を作る……地域の「土」となる人材を育成する
4. 薬になる……自分自身が地域にとって有為な人材となる
5. 後退しない……いつも前向きに

MIMIZ

Contents

P2 海と空の玄関口を守る人たち

P8 GO太くん大調査

P14 若者の諸君、函館で働きたいか!!!

P20 函館ワインのこれから

P26 素敵な出会い、見つけませんか?

P32 函館ライブハウス探訪

P38 あとがき

P39 取材先一覧





函館税関―海と空の玄関口を守る人たち―

清水癒月



はじめに

私は、もともと客室乗務員に憧れていて、空港や国際的な仕事に強い関心を持っていました。身長条件でその夢はいったん諦めることになりましたが、日本と世界をつなぐ仕事に携わりたいという気持ちは変わりませんでした。

そうした中で出会ったのが「税関」という仕事。空港や港で人とモノの安全を守りながら、海外とのつながりを支えている存在だと知り、興味は一気に高まりました。

では、実際の現場ではどのような仕事が行われているのでしょうか。――

↓函館税関総務部 税関広報広聴官
岩谷誠一さんにお話しをうかがいま
した。



左：金地金のレプリカ
右：函館空港で摘発された金のレプリカ

豊かな日本の生活には欠かせない「貿易」に深くかかわりを持っていて、貿易の発展で国が豊かになっていく一方で、税関はその秩序を守っていく役割を果たしています。税関では三つの使命を掲げ、日々業務に取り組んでいます。

① 安心・安全な社会のために

不正薬物やけん銃、テロ関連物資、模倣品など——社会の安心を脅かすものが日本に入り込まないように、税関では二十四時間体制で水際での取り締まりを行っています。最近では「金地金」の密輸も深刻化しており、こうした犯罪を未然に防ぐことも重要な役割です。さらに、軍事転用の恐れがある製品や技術が海外へ不正に持ち出されないよう、情報収集や厳格な審査・検査にも取り組ん

でいます。

② 適正で公平な税の徴収

税関が扱う関税や消費税などは、日本の国税収入の1割を優に超える国家運営のための大きな財源です。適切に税が納められるよう、輸入手続きを行う方々へ分かりやすい情報提供を行い、公平で透明性のある納税環境づくりを進めています。

③ 貿易をスムーズに

国際貿易をより安全に、そして円滑に進めるため、通関手続きの見直しやシステムの改善を継続的に実施。利用者の利便性を高めることで、日本と世界のつながりを支えています。



函館税関ならではの特徴

Q 他の税関と比べて、函館ならではの
特徴は何ですか。

函館税関のあるここ函館港は、日本が鎖国を解いた後の安政六年（一八五九年）、長崎と神奈川（横浜）とともに外国貿易のために開かれた最初の港の一つです（当時は「箱館」と書きます）

そういったことから、他の税関と比べても歴史の深い税関の一つです。（開港当時、税関は「運上所」と言いました）。現在、税関は全国に九つのブロックがありますが、その中で函館税関は、全国のおよそ三分の一という広大なエリアを管轄しています（海岸線の距離にして約五千km）。そういった広大なエリアを四百人ちよつとの職員でカバーしてい

ます（全国税関職員数は一万人強）。税関業務の種類は全国一律なので、一人の職員が税関人生で経験する業務の種類は他の大きな税関に比べても多いのでは、と感じています。

Q 函館港を経由する主な輸出入品には
どのようなものがありますか？

【輸出】

・ 船舶（主に新造される貨物船など）

・ セメント

・ 木材

・ スクラップ

【輸入】

・ 魚介類やそれら魚介類の製品

・ 小麦

・ 融雪剤

Q 近年の業務で変化している点（増えている作業・減っている作業）があれば教えてください。

特にコロナ禍以降は、インバウンドの再開と増加に伴い、海外からの入国旅客、海外への出国旅客に
関係する業務が増えています。その中でも近年は、国際クルーズ船の入港が、ここ函館港でも多く、今年には六十三隻が入港しました。（北海道内では函館港が一番多く入港します。二番目の小樽の約三倍）
税関全体の業務変化で言えば、近年は越境電子商取引（越境EC（イーコマース））という形態の輸入が盛んにおこなわれており、これらの輸入品への通関・検査対応が大きな業務増加の要因にもなって

います。

また、「三つの使命」の部分でも説明したとおり、近年、安定資産としての「金」の価値が上がり続けており、価格も右肩上がりですが、この価格高騰を「密輸」という手段で悪用する者が急増しています。

Qクルーズ船が来港する日は、業務体制に何か変化がありますか？

クルーズ船に対する業務は、税関の「監視部」という部門の職員が行っています。監視部の業務の範囲内ですから、クルーズ船が入港したとしても大きな変化はありません。ただし、海外からのクルーズ船には（船によりけりですが）多いときは二千人を超える外国人旅行者が乗り降りすることもあるため、現場対応を行

う職員は、クルーズ船が出港するまで若松埠頭にある「函館クルーズターミナル」に向向いて勤務することもあります。

税関職員の一日 例)港での取り締まり業務

08:30 - 09:30	始業 前日分の書類整理
09:30 - 11:30	監視部業務(監視艇による海上の巡回)
11:30 - 12:15	本部に帰庁(巡回報告などの後処理)
12:15 - 13:00	昼休憩
13:00 - 15:00	窓口書類対応などの事務処理
15:00 - 16:00	陸上巡回(官用車、徒歩)
16:00 - 17:00	本部帰庁
17:00 - 18:05	退勤

岩谷さん、若手職員のリアルな声

Q仕事の中で最も緊張する瞬間はどんなときですか？※職員らのコメントを抜粋しています。

(若手職員の方々から)

・緊張感を持ち取り締まりを行わなければと身が引き締まる瞬間です。

・IDS という薬物の痕跡を探知できる機器がありますが、取り締まりの現場でIDSが薬物の成分を感知したときは緊張が走ります。現場での取締業務中、特に瞬時に「不審点かどうか」を判断しなければいけないときです。税関業務では、日頃培った知識をもとにした迅速かつ正確な検査が求められますが、そこには検査官の技量が大きく関係します。

Q逆に、やっつけてよかったと感じる瞬間は？※職員らのコメントを抜粋しています。

(若手職員の方々から)

・社会で最も多くの人が被害を受ける犯罪は、税金の徴収から不正に逃れることだと聞いたことがあります。

す。この仕事をやっていてよかったと感じる瞬間は多々ありますが、例えば、空港で大量のたばこの未申告事案を発見し、正しい税金を徴収することができたときはやりがいを感じました。

・テレビ番組で税関職員について知ってくださる人が多くいる中で、「あのテレビでやっている仕事しているの？すごいね！」と言われ、親戚や家族、友達から尊敬のまなざしをいただけることです。

Q 函館税関で働くからこそ感じる“地域とのつながり”はありますか？

(岩谷さんから)

2. の部分でも説明した通り、函館税関は少ない職員で業務を行っていることから、一人当たりにおいて、税関手続きに関する各関係業者をは

じめ、市民の皆さんと接する機会が多い職場ではないかと感じます。特に、函館税関では、たとえば署長と署員の二名で勤務する職場もあります。こういった職場では、たとえ若手の署員でも税関業務に関して地域の皆さんから頼りにされることが多く、職員も責任を感じながら地域の方々と良好な関係を保ちながら業務を行っています。

Q 若手職員の方が感じるやりがいを教えてください。

(岩谷さんから)

最近は「く」などでも取り上げていただいている「空港での税関検査業務」ですが、監視取締業務ではやはり、不正薬物やけん銃、金地金などの密輸入を摘発することにやりがいを感じてもらえると思います。密輸され

ようとしたものを自分が摘発することと、「日本の安全と社会秩序を守ることができた」という、仕事への達成感・充実感が得られると思います。そのほか、通関業務で言いますと、例えば、ある輸入貨物を自分が審査担当として輸入許可したとします。

その後、街の店先で、自分が通関処理した商品を見かけたときはきっと、「自分が処理対応した輸入品が国内に回り、市民の方が手に取ってくれている。」といった、ちょっとした嬉しさも感じられるのではないのでしょうか。

(若手職員の方々から)

・日本で起こる犯罪や違反行為を未然に防ぐことに繋がり、社会貢献を仕事の中で感じられることです。

・日本の水際を守っているので、今
生きている社会の安全を守っている
と実感できる場所です。

・公務員は法律の知識を使った行政
行為を行います。自分が勉強した分
だけ、できる業務の幅が広がること
を実感できるので、やりがいを感じ
ます。

**Q 学生が税関の仕事に関心を持つため
に、まず知っておくといことは何で
すか？**

(若手職員の方々から)

・外国から来た貨物が輸入されるま
での流れ(どうやって我々国民のも
とに届くのか)を知っておくとよい
かもしれません。税関の仕事は「モノ
」の流れと密接に関わっているた
め、身近な「モノ」に置き換えると
考えやすいと思います。

・不正薬物がどれほど危険なもので
あるかということを知ることが大切
だと思います。このことを知ってい
ると、大量の不正薬物が日本に入っ
てくることの恐ろしさも知ることが
できて、水際で取り締まられている税
関の仕事に関心が持てるのではない
かと思います。

おわりに

以上がインタビューでのお話になり
ます。税関のお仕事について知って
いただけたでしょうか。取材をする
にあたって、私が将来興味のあるお
仕事の一つだったからという理由で
はじまりましたが、この記事を作成
するまでに感じたのは、税関の仕事
の奥深さと、税関の仕事が「見えな
いところで、私たちの毎日を守って

いる」ということでした。人やモノ
が国境を行き来するいまの時
代、安心して暮らせる社会や、ス
ムーズな貿易の裏側には、静かに
使命を果たし続ける職員の皆さま
の姿があります。地域に寄り添い
ながら、日本と世界をつなぐ“水
際のプロ”。函館税関の仕事は、
これからも私たちの未来を支える
大切な役割を担っていくはずで
す。取材に協力してくださった函
館税関 総務部 税関広報広聴
官、岩谷誠一様、若手職員の方
々々、カスタム君、ありがとうございました。



税関イメージキャラクター：カスタム君

GO太くん大調査



金 優希

みなさんは、「ゆるキャラ」を「存じますか？ゆるキャラは、緩いキャラクターの略で、見る人の心がくつろぐような雰囲気をもったキャラクターのことです。（出典：大辞林）ゆるキャラは全国に3000体以上いるそうです。みなさんも一度は見たことがあるのではないのでしょうか。

私が今回、ゆるキャラを記事のテーマにした主な理由は、ゆるキャラが好きだからです。地域ごとに様々なゆるキャラがあるので、旅行に行ったとき、その地域のゆるキャラのグッズを買うと記念になるし、キャラクターに出会うと思いつい出にも残る・・・そういうところがゆるキャラの魅力だと思っています。そこで、ゆるキャラは観光にどのような影響を与えているのか気になり、調べてみることにしました。今回、調査したのは、五稜郭タワー公式イメージキャラクターのGO太くんです。五稜郭は函館の有名な観光地なので、観光への影響が分かりやすいかと思いい、GO太くんを調査対象とさせて頂きました。

まず、GO太くんとはどのようなキャラクターなのでしょう（←出典：GO太くんの部屋）

☆GO太くんのプロフィール

名前:GO太くん

性別:男の子

生年月日:2006年12月1日

サイズ:107m 1200トン

チャームポイント:頭の上にある

避雷針と航空障害灯

性格:陽気で明るい働き者

趣味:タワーめぐり・カフェを楽しむ

五稜郭と函館市街の展望

特技:LEDで時報を知らせること

好きなタイプ:明るい人

好きな曲:星に願いを

好きな食べ物:チョコレート

好きな言葉:まごころ

憧れの人:武田斐三郎

夢:タワー界のスターになる

座右の銘:一期一会

好きな場所:エレベーターホ

ールとかアトリウム

GO太くんについてお話を聞くため、私は五稜郭タワーに取材に行ってきました。

対応してくださったのは五稜郭タワーの船越様です。

GO太くんが生まれた背景

五稜郭タワーは2006年に建て直しが始まり、同年12月1日に完成しました。この時、一緒にGO太くんも生まれました。当時、世間がゆるキャラブームだったことと、五稜郭タワーが加盟している全日本タワー連盟の他の19のタワーにキャラクターがいたことから、それらに合わせてGO太くんは生み出されたのです。

観光業への効果は？

GO太くんが生まれたことで、観光業に何か変化はあったのでしょうか？ 船越様によると、直接的な集客の効果はあまり大きくなかったそうですが、キャラクターがいることで、お子さんを始めとする様々な世代のお客さんに喜んでもらえたそうです。五稜郭タワーのブランド作り、イメージ作りに効果的だったとおっしゃっていました。

お客さんの反応は？

前項で書いたことにも繋がりますが、GO太くんは様々な世代のお客さんに親しまれているそうです。「かわい

い」という声が多く、ポジティブな反応が多いようです。しかし、私たちに会いにきてくれるGO太くんは2メートル近くあるので、お子さんの中にはたまに怖がって泣いてしまう子もいるそうです…。

今後の展開

最後に、今後、GO太くんをどのように展開していくのかを伺いました。

GO太くんは現在、グッズやSNSを中心に活動していますが、本人はコロナ以降、五稜郭タワーでの登場はお休みしており、今後の活動については検討中だそうです。グッズやSNSでのアピールは続けていきたいとおっしゃっていました。グッズは通販でも買えるそうです。最近、新しいグッズができたということで、見せていただきました。



GO太くんのイラストが載ったトートバッグです。お出かけする時もGO太くと一緒にいられるのはGO太くん好きにはたまらないですね。
ちなみに、一番人気のグッズは「GO太くんぬいぐるみS」だそうです。手乗りサイズのマスコットにボールチェーンがついていて、カバンにもつけられそうです。実は取材の帰りに私も買いました。



また、GO太くんの写真を撮らせていただきたいとお願したところ、快く引き受けてくださいました。GO太くんは現在、タワー内での登場をお休みしているということですが、撮影のために出てきてくれました。ありがとうございます。

GO太くんが姿を現すと、多くのお客さんたちがGO太くんのもとへ集まってきました。GO太くんの人気、さすがです。展望台へ上るため、GO太くんは自分でエレベーターまで歩いて行ってくれました。しかし、たまに違う方向へ行ってしまったり、ポールにぶつかってしまったりGO太くん…。船越様によると、GO太くんは目線が高すぎて足元が見えづらいことがあるのだそうです。そしてエレベーターに乗るとき、驚きの光景を目にしました。なんと、GO太くんの頭が外れたのです。そのままだと背が高すぎてエレベーターに乗れないので、頭が外れる仕様になっているようです。頭が取れるとは知りませんでした…！



展望台に到着すると、函館の街と五稜郭を背景にGO太くんを撮らせていただきました。展望台でも多くのお客様さんがGO太くんと記念撮影をされていました。GO太くんの人気っぷりや魅力をたくさん知ることができた時間となりました。

みなさんもGO太くんに会いに五稜郭タワーに行ってみてくださいね！



終わりに

今回の調査では、GO太くんは観光への直接的な影響というよりも、五稜郭タワーのイメージ作りとしての役割を果たしていることがわかりました。今日、GO太くんが多くのお客さんに囲まれていたのを見ると、GO太くんのことを知らずに来たお客さんもGO太くんにすぐ心を掴まれたのではないかなと思います。GO太くんに会うことやグッズを買うことでGO太くんに愛着が湧き、また五稜郭タワーに行きたいと思うお客さんもいるのではないのでしょうか。五稜郭タワーの良いイメージを作ったり、お客さんが五稜郭タワーで楽しい思い出を作ったりすることにおいて、GO太くんは重要な役割を果たしているのです。また、GO太くんは、函館に住む人々、函館に観光に来た人々に、函館の魅力を伝える役の一人と言えると思います。

実際に会わなければわからなかった魅力をたくさん発見できたと思います。それを読者のみなさんにもお伝えすることができれば幸いです。

取材にご協力いただいた船越様、ありがとうございました。

最後までご覧くださりありがとうございました。

<ご協力>

五稜郭タワー株式会社 企画室 船越様

<参考>

- ・五稜郭タワー GO太くんの部屋 五稜郭タワー公式サイト
<https://www.goryokaku-tower.co.jp/gotakun/>
- ・松村明 大辞林第四版(2019)三省堂

函館で働く若者を支える



山田敬汰

皆さんは人口減少について考えたことはあるでしょうか。私自身も普段から考えているわけではありませんが、ふと地元を考えたとき、人が少なくなっていく街が悲しくなってきました。そしてここ函館でも20年で人口が徐々に減ってきており、人口減少は函館の持続可能性を考えるにあたって重要な課題となっています。人口減少の原因は様々ですが、そのうちのひとつに若年層の流出が挙げられます。そして若年層の流出にも色々な理由があります。私には、「就労」と密接な関係にあると思います。そのため「函館の若者」と「就労」について、どのような取り組みをしているか、道南いさりび鉄道株式会社さんと北海道渡島総合振興局 産業振興部商工労働観 光課さんにお話を聞かせていただきました。



取材コーナー

まず北海道渡島総合振興局産業振興部商工労働観光課さん(以下振興局さん)についてです。

Q 振興局さんが考える若者の流出の原因は？

A 函館から流出する若者の多くは東京や札幌などの都市に行ってしまうですが、その理由は進学や街のつくりなど多岐にわたり、就労もそのうちのひとつです。若者の流出は地域経済の縮小に繋がりが、後継者不足になっています。とくに函館では農業・漁業・林業など第一次産業の人手不足が大きな課題となっており、振興局のそれぞれの課で相談会やPR、合同企業説明会などを行っています。



↑取材させていただいた
商工労働観光課様

Q そのほかに取り組まれていることはありますか？

A 渡島地域で人材確保に課題を感じているすべての企業様に活用いただける支援があります。それが「採用力向上と離職防止セミナー」、「採用担当者と先生のしゃべり場」、「地元のおしごと紹介フェア」です。この3つの支援により、地域全体の正社員採用の促進と職場定着を目標にしています。

Q 若者向けより企業向けでしょうか？

A はいそうです。先ほども話した通り、若者が函館から離れていく理由は様々で、就労はそのうちのひとつにすぎません。そのため若者に向けた就職支援はもちろん行いますが、せっかく函館で就職してくれた若者が定着してくれるよう、企業に向けた支援を行います。

1つ目の支援はプロによる企業様を対象としたセミナーで、合同企業説明会でのコミュニケーションや入社直後の対応で早期離職を防止する方法等の説明会となっています。

2つ目は、学校の先生と企業代表がトークをする場となっています。

Q 生徒ではなく先生と？

A こちらは全国的に見てもかなり珍しい事業となっています。先生という大人の視点からの学生さんの様子を企業様側が知る機会になったり、学校と

のつながりを持つきっかけとなります。先生は学生さんが就職するにあたって進路相談をするため、企業様にとってこのようなつながりはとても重要なものとなります。

そして3つ目の「地元のおしごと紹介フェア」が、実際に学生さんたちと企業様が話す場になります。

Q 実施してみて、評価はいかがでしたか

A 企業さん側からのお声は良いものが多かったです。とくに先生方とのトークでは、今学生たちの間で流行っているものやどういったことに興味があるのかなど、第三者を紹介することで新たに見えてくることがあったとのことをお声を多数いただきました。

しかし課題がいくつかありました。それは、3つ目の企画での函館の高校

の参加が0だったことです。学校単位での参加が必要なイベントでは、授業の一環として参加する形になるため、このような結果となりました。これらの企画は来年、再来年と長く続けていきたいため、開催の仕方を改善しつつ行っていきたいと思っています。



振興局さんでは、若者をはじめとする多様な人材の確保及び定着を図るため、さまざまな事業を通して人手不足産業分野の地元企業が働きやすい就業環境を整備し、魅力ある職場づくりを行っていくことを促進しています。

その中でも私が驚いた事業は「採用担当者」と先生の「しゃべり場」です。先ほど既述した通り、他では耳にしない「先生との対話」ですが、その珍しさに驚きました。この事業は企業側がリアルな学生の姿を知ることができるのみではなく、先生側が企業のリアルな姿を知ることでもできるため、企業と学生との対話よりも多くの情報を得ることができ、学生の就職の助けになると感じました。

次に、道南いさりび鉄道株式会社さん（以下いさりび鉄道さん）についてです。

いさりび鉄道さんは第三セクターに位置づけられる企業となっており、地域への貢献を重視し、函館にはなくてはならない存在となっています。

Q 人口減少において若者の流出が挙げられますが、新卒採用や職員の定着について、いさりび鉄道さんではどのような対策をしていますか。

A 採用については、私たちの会社の立ち位置からあるように、地元の人をなるべく採用していきたいと考えています。



↑こちらいさりび鉄道様



↑2025年11月入社の宮崎さん

しかし、それだけでは人手不足になってしまうため、今では近隣の県や東京などの都市で開催される就職イベントや鉄道関連のイベントに参加することで、認知度アップを図っています。そして、定着に向けて福利厚生や教育に力を入れています。

Q 具体的にはどのようなことなのでしょう。

A まず福利厚生についてですが、休日数を増やす試みとして、保存休暇という制度を導入しました。その内容については、2年で失効してしまう有給が

仮に余る場合に積み立てることができ、条件に応じて使用できる休暇制度です。そして、これはまだ検討中のものですが、福利厚生カード（仮）を考えています。これは全国で使える構想で特定のショップでの買い物の割引に使えのようになっていきます。

次に教育について、私たちの会社では新入社員は約3年をかけて1人前になっていきます。資格の取得は入社後でも大丈夫で、取得のサポートや取得後のお祝い金など、新入社員がのびのび成長できる環境を整えています。



↑様々な賞状がありました

終わりに

今回の取材を通して、函館で働こうとしている若者に対して振興局さんやいさりび鉄道さんがさまざまな立場から支援事業を行っていることや、若者との関わり合い方、企業と公共機関とのつながりがわかりました。一方で、支援の存在が十分に知られていないなどの課題も見つかりました。

今後、若者ひとりひとりに寄り添った支援を継続していくとともに、企業・公共機関・地域社会が連携し、若者が安心して社会に踏み出すことのできる環境づくりが目標となるのではないかと思います。

道南いさりび鉄道株式会社 高野さん

北海道渡島総合振興局

産業振興部商工労働観光課

上島さん 山田さん

ご協力いただきありがとうございます。



函館ワインのこれから

皆さんは函館の観光資源といえは何を思い浮かべるでしょうか。食品でいえばイカやカレイ、場所ではいえば函館山や五稜郭、赤レンガ倉庫が浮かぶでしょう。しかし、私は今回「ワイン」を提案します。

なぜワインなのか。前期号にて私は函館の農業について調べ、その中で醸造用ブドウの生産量が年々増加していることが分かりました。

数年前から成人し、お酒が飲めるようになった私ですが、ワイ

ンについては何も知りませんでした。今回は私とともに函館のワインについて掘り下げていきましょう。

小野 月滉

ワインが完成する過程

今回取材させていただいたのは、株式会社はこだてわいん様とド・モンティーユ&北海道様です。

まずは簡単にワインができるまでの工程を見ていきましょう。

一、搾汁

ブドウの身を絞って液体にします。

この際、黒ブドウは皮や種子も一緒に压榨します。

二、発酵

タンクや木樽で発酵させます。時期を見てかき混ぜる必要があるため、なかなかの重労働です。木樽で熟成することで、タンニンと

いう渋味成分が強くなり、よりコクのあるワインに仕上がります。



三、熟成・濾過

発酵させたワインをさらに熟成させます。熟成にかける時間で風味が大きく変わります。濾過

四、瓶詰め検品

することで見慣れた、澄んだワインになります。わざと濁らせる種類のものもあるようです。

↑はこだてワイン様の木樽



↑ワインができるまでの図

取材内容

はじめに、はこだてわ
いん様で取材させていただ
いた内容を紹介させて
いただきます。

Q、ワインづくりにおいて
大変な作業はありますか？

A、ワインの品種にもよ
りますが、ブドウの房か
ら実を取り出し、悪い実を取り
除く選定作業、あとはタンクに入
れてからかき混ぜる作業が非常
に重労働です。それ以外は機械
化されていたり、温度管理が主
になります。

Q、近年の気温上昇や異常気象の
影響はありますか？

A、少なからずありますが、それ

が良い影響を与えました。ブドウ
は日を当てること、あとは寒暖差
によって甘みが出てきます。今年
(二〇二五年)は日照時間が多
く、雨が少なかったため、成長が
早まりました。しかし、集中豪雨
の影響も少なからずありました
…。

次にド・モンテューユ&北海道
様の取材内容について紹介します。

Q、他のワイナリーと違うところ
はありますか？

A、私たちのワイナリーはまず日
本でも有数の広大な土地を所有
しています。十ヘクタールを超え
るところは少ないですが、私たち
は四十ヘクタール所有しています。
また、私たちのワイナリーはフラ
ンスの名家であるエティエンヌ・

ド・モンテューユが日本に造った
ワイナリーで、海外からの参入に
なります。

Q、他ワイナリーよりも新しいと
聞きましたが、これからの展望な
どはありますか？

A、はい。まだまだブドウ畑の面
積も少ないため、まずは少しずつ
安定したワインづくりができれ
ばと思います。そして、何もない
高原に電柱や電気柵などの設備
を整備するうえで、市から補助
していただいたので、函館市民限
定の還元ワインなどで恩返しを
していきたいなと思っています。

ワインづくりの 「こだわり」

二つのワイナリーを見学し、取材を進めていく中で、それぞれの「こだわり」を感じることができました。その「こだわり」を紹介していきます

たいと思います。

まずは、はこだてワイン様ですが、ワインをつくる流れの中で多くの工夫がありました。例えば、しばれづくりというワインが販売されていますが、これはブドウを絞る段階で凍らせることで、うまみを凝縮するという工夫がされています。



次にド・モンティエユ&北海道

様ですが、取材してわかったこだわりは「土壌」です。当主であるエティエンヌが大切に考えた考え方なのですが、わざわざ本国のフランスから地質学者を呼んで調査にあてるほど土に対して高いこだわりがありました。駒ヶ岳からの火山灰が降り積もっている函館の土壌は育てられている品種の特性に合うものであるといま

↑しばれづくり

す。また、水はけをよくする工夫として暗渠（あんきよ）と呼ばれる土を掘ってパイプを通して水を逃がすような仕組み作りも行ったようです。

以上のようなワインづくりに対する「こだわり」を発見することができました。

←土壌の標本



なぜ函館なのか

それではなぜ函館でワインをつくる意味があるのか。他の地域や道南の他地域ではだめなのか。この雑誌のテーマである函館に生きるモノというテーマと少し絡めて考えてみましょう。

はこだてワイン様は函館という地域のもつ歴史を活用しているワインなど、ワインの銘柄に函館という要素が生きていると思えました。例えば青函トンネル内で熟成させたワイン、函館で育った果実を使用した果実ワインなど、さまざまなワインの銘柄に函館が絡められていました。



↑ 青函トンネルで熟成されたワイン Cave-283

ド・モンティーユ&北海道様は、函館でワインづくりをする意味として主に三つ挙げていました。一つ目は、広大な土地があるという点。二つ目は、北海道の中で

も積雪量が少ないという面です。三つ目は、先ほど述べたような土壌の特性のよさです。しかし、これらを凌ぐような意味として、函館が大きな産業地であるということがあります。北の玄関口として、そして北海道でも有数の港湾地として知られている函館。そのような函館だからこそ、海外から新規事業として参入しやすい、大きい市場としての函館でワインをつくる意味があったのだといえます。



↑ド・モンティーユ&北海道での試作品

まとめ

今回、二つのワイナリーに取材をして、函館のワインについて掘り下げました。いかがでしたでしょうか。少しでもワインの魅力をお伝えできて、函館のワインに興味を持っていただけたらばうれしいです。

さて、今回の取材で分かったことは、函館の大きなブランド力、秘められた魅力です。私たちは今、函館に住んでいます。ですが、どうしてもマイナスな部分に目が行きがちではないでしょうか。例えば、交通のアクセスがあまりよくないであるとか、若者の転出率が高い、ショッピングモールが少ないなどです。しかし、今回の取材のように視点を換えることで、

新たに函館に生きるモノが、函館の魅力が見つかるのではないのでしょうか。今回はワインという視点から、我々の知らない函館を取材しましたが、他の視点からも「函館に生きるモノ」が見つかるのではないのでしょうか。



ご協力いただいた方々

株式会社はこだてわいん様

ド・モンティエユ&北海道様

ご協力ありがとうございました！

素敵な出会い、
みつけませんか？

川地海生

譲渡会の成果について

開催日時	来場者数	譲渡数(センター)	譲渡数(動物愛護団体)
R7.1/18	133	1	2
R7.4/26	106	3	3
R7.6/28	92	0	3
R7.7/26	64	1	3
R7.8/23*1	36	2	-
R7.10/25*2	562	4	0
R7.11/22	45	2	3

*1 センターの猫を対象とした緊急譲渡会のため動物愛護団体は不参加

*2 同日に開催された函館矯正展でイベントブースとして参加

出典 センター集計値

こちらがこれまでに開催された譲渡会と譲渡された動物の頭数です。回数を重ねるにつれ来場者数が減少していますが、譲渡に結びついた動物の数は増えています。私が参加させていただいた11月22日の回では、センターと動物愛護団体から計5匹の猫が譲渡されました。また、10月25日の譲渡会は函館少年刑務所で開催された函館矯正展で行われました。この回では562名の方にご来場いただき、センターから4匹の猫が譲渡されました。他にも、環境省が9月20日～9月26日を動物愛護週間と定めており各地で動物愛護フェスティバルが開催されています。函館でもどうぶつ愛護フェスティバル in おしまが開催される予定でしたが、こちらは当日の悪天候により中止となってしまいました。保健所の方によると、この回は動物を展示するのではなく写真と付随するQRコードを読み取ってもらい、動物たちの普段の様子やプロフィールを閲覧する形にしていたとのことでした。譲渡会当日もパネルを使って同様の紹介がされていましたが、実際の動物を連れて来る必要も広いスペースを用意する必要もないため、QRコード1つで完結するのは時代の進歩だと感じました。



譲渡までの流れ

センターにいる動物たちがどういったプロセスを踏まえて譲渡されるのか、センターを運営しているニャン友ねっとわーく北海道様にお尋ねしました。主な流れはこの3点ですが、1つ1つの工程では綿密な確認を要します。飼い主を探している動物たちとはいえ、簡単に譲渡せず厳しくチェックをする点は、管理を怠らず動物の幸せを第一に考えている証拠だと思います。

また、動物の遺棄や虐待が発覚した場合、動物愛護管理法に基づき 100 万円以下の罰金及び一年以下の拘禁刑となります。ペットを飼うということは楽しい事ではありますが命を預かることになります。中途半端な気持ちで飼うことは許されません。

それに、費用も決して安くはありません。ペット保険を扱っているアニコム損害保険株式会社が行った1年間にペットにかけた年間支出額の調査（2024年度）によると、犬は414,159円、猫は178,418円となっています。あくまでこの額は平均となりますが、近年は物価高が進んでいるため同程度の額がかかると考えて差し支えないと思います。

参考 アニコム損害保険株式会社 2024年度最新版
ペットにかける年間支出調査 <https://www.anicom-sompo.co.jp/news-release/2024/20250311/>

アクセス日：2025/12/23

- 誓約書の記載をお願いしています。
- A 譲渡までの流れはこちらになります
 - 1 個人情報や生活スタイル、生活環境のヒアリング
 - 2 ペット可の証明書類の提出（賃貸物件、集合住宅の場合）
 - 3 トライアル
 - 4 譲渡
- その他猫を迎えるために必要な物資の購入、脱走防止対策、自宅での

Q 譲渡に至るまでの過程を教えてください



譲渡会の様子

譲渡会開催の様子がこちらです。ケージの上にタオルをかぶせているのは、猫が暗い場所を好むため、不安を与えず落ち着かせるためです。猫にも個体差があるため、タオルをかけなくても活発に活動する子もいれば、暗くしていても引っ込みがちな子もいます。こういった特徴を見てペットを飼うか、もしくはどの子を飼うかを定めることが重要になります。

私の推しはタロウちゃん（左下）です。譲渡会が始まる前にお世話していましたが、ずっと鳴いていたのが印象的でした。開催中も他の猫が静かになる中、この子は名前を呼ばれるとニャーと鳴いており、人見知りをしないタイプなのだと思います。結果的にタロウちゃんは、譲渡会当日にトライアルが決定していました。



あ と が き

今回、譲渡会に参加出来たことは貴重な体験になりました。参加団体の中には一時間ほどかけて函館に来られる方もいましたが、譲渡会開催中も含め動物たちにストレスをかけないよう最大限配慮しており、大切に思っていることが伝わってきました。保健所の方によると、この先も譲渡会は定期的に開催する予定で、開催場所はセンターだけでなく、イベントにブースとして参加するなど様々な場所を計画しているそうです。私としても、イベントへの参加や QR コードを用いた簡易な展示など、色々な手法を用いて、一匹でも多くの動物が新たな飼い主にめぐり合って貰いたいと思っています。今回は合同譲渡会をメインとした話となりましたが、センターの見学や譲渡に関しては、随時受け付けています。犬や猫の平均寿命は約 15 年とされていますが、1 日でも早く出会って 1 日でも長く一緒に暮らして欲しいと思います。最後に、今回ご協力いただいたニャン友ねっとわーく北海道様、市立函館保健所生活衛生課環境衛生担当様、及び譲渡会に参加された団体の方々、本当にありがとうございました。





函館ライブハウス 探訪



高橋 羚



函館あうん堂店内の様子

函館で生活を送っていて、「放課後や休日にどこか面白い場所ないかな」と思ったことはありませんか？

カフェやカラオケもいいけれど、**ライブハウス**という**選択肢**を覗いてみてほしい。

ただ、ライブハウスって少し怖い、難しそうと思っている方も多いのではないのでしょうか。確かに、ライブハウスは初めて訪れる方にとっては、少しハードルが高いと思われることが多いです。

そこで今回の取材では、実際のライブハウスがどうなっているか、どのような雰囲気なのか、今回は2つの函館のライブハウスに取材に行ってきました。取材を行っていく中で見えたライブハウスの実態と、函館で運営する現状について紹介します。

函館あうん堂ホール



函館駅の近くで40年以上、街の音を支え続けてきた函館あうん堂ホール

元々がジャズ喫茶から始まったあうん堂ホール。83年に当時のオーナーが、函館に少なかった多目的ホールとして現在の形でオープン。内装にはキッチンやピアノなどが配置されており、リラックスできる印象を持ちます。ここでは、あうん堂ホールの雰囲気、スタイルや現代の課題について語っていただきました。

あうん堂ホールさんについてご紹介をお願いします。

函館あうん堂は元々はジャズ喫茶からできた店だったが、函館で少なかった多目的ホールに目をつけてオープンしました。当時はバンドブームが来ていて、毎週毎週バンドが入ってくる場所でした。

というものはライブハウスといわれるものが少なく、多くのバンドが入るにつれ、次第にライブハウスっていう認識になっていきました。この時代では土日の日中は高校生、夜には大人がライブを行っていて、それとは別に、多目的スペースなので、演劇のステージやギャラリー展示、パーティーなどをしていました。今でもほぼやり方は変えてないです。

函館あうん堂ホール

現在のあうん堂さんのイベントに参加される若い世代の方はどの程度いらっしゃいますか。

音楽的なイベントに関して言うと、若い世代は外に出てこなくてよくなったと思います。例えば、高校生なら学校での部活動で年間4、5本のイベントがあって学内で完結している。バンドブームの時代では、バンド=不良みたいなイメージがあって学校で禁止されている所も多かったです。ライブは学校祭でもやるけども、それ以外の機会は外でライブハウスや楽器屋さんが主催するコンサートも結構あって、外に出て、違う学校の人と交流するという動きが一般的でした。今は外に出てくれる機会が減って、学生さんたちと交流する機会が減っています。今までも大学生などからコンサートの申し込みが年に数回あるけども、コロナ禍以降で生徒の入れ替わりなどで交流が減って、今までやってきたことなどを知らないという学生が増えたと思います。

コロナ禍以前から若い世代の減少自体はあったのですね。

やっぱり学校自体のイベントなどが充実してきた、外に出ていく必要がそんなになくて学校で完結するようになったのが大きいと思います。加えて学生のバンドの演奏する曲数が少ない傾向があるので、なかなか色んな人と混ぜてライブをすることが難しい現状がある。近年では、ARARAさんに学生さんはいっていることが多いのかなと感じています。

あうん堂さんにはどういったバンドがいらっしゃいますか？

あうん堂のスタイルは40年変えていなくて、爆音でというよりも、生音に対しては足りない部分だけ足しましょうというスタイルで、今はアコースティックメインで、弾き語りの子が多くなってきたのかなと思います。

現在のあうん堂さんにはどのぐらいの年齢層の方がいらっしゃいますか？

結局はバンドムーブぐらいの世代の方が一番多くて、次にそれより少し上の方が多いかと思います。

若い世代を取り込む上で取り組まれていることはありますか？

学生さんは入場料の半額などを行っています。

コロナ禍以降の人の出入りについてどう感じられていますか？

以前はなにかあるから行ってみよう、みたいな動きやお付き合いなどの「行ってみよう層」がいたけども、それが今は居ないので、本当に好きな人があちこちに散っているだけになってしまった感じがします。

ライブハウスって内向的だったり閉鎖的なイメージがあるところもあると思うが、実際にはどうなのでしょう。

元々は、ライブハウスに馴染みのない人を学生さんが呼び込んでくれたところがあったが、今はそれが途切れてしまったので、わざわざ見たことない人を見に行くというきっかけがなくて、ライブハウスに行くというきっかけが作れずにそういったイメージができてしまうと思います。また、僕らも学生を引っ張ってきていいものかと躊躇してしまうところもあるので、業界的に悩みどころだと思う。一方で学生さんはもう少し好奇心をもって外に出て、SNSだけじゃない発見をして欲しいと感じます。

函館ARARA



2019年に新しくオープンしたライブハウス 函館ARARA

苫小牧から函館へ本州との懸け橋にと近年オープンした函館ARARA、店長がこだわっているのは入りやすさ。函館で作った経緯や取り組みについてお話を伺った。

ARARAさんが函館でオープンされた経緯についてお聞かせください。

苫小牧のライブハウスキューブっていうライブハウスがあるんですけど、そこの社長が、2号店を出すということで本社が出来ました。函館である理由はここの歴史であったり、港町で人が集まりやすくて、本州との架け橋の入り口にライブハウスを作りたいとのことでした。

ARARAさんでは実際にはどのようなイベントを開催されていますか？

基本的にはバンドイベントとか弾き語り、あとはDJイベント、HIPHOPあたりのイベントが主になりますね。結構ノンジャンルで開催しております。

函館ARARA

どの程度の年齢の方がいらっしゃいますか？

一概には言えませんが、イベントごとに結構年齢層は変わります。高校生から60歳ぐらいの方まで幅広くいらっしゃいます。

こういった経緯でお客さんはいらっしゃっていますか？固定客などがやはり多いのでしょうか？

アーティストさん目的の方が多くて、固定客は半々だと思います。

ライブハウスは閉鎖的なイメージがありますが、ARARAさんでは、それに対して取り組みなどはされていますか？

ライブハウスは外から入りにくいところがあると思うので、まず内装で壁を白くしたり、ライブハウスって臭くて怖いみたいなイメージを払拭するように心掛けています。また、高校生や大学生に来て貰って野外イベントをやったり、SNSやお世話になっているお店とかにイベントのポスターを配布したり、地域でゴミ拾いなどを行って社会貢献なども行っています。

地域との関わりを積極的に行っているんですね。

そうですね。僕らはライブハウスではあるんですけどどちらかと言えば一緒にエンタメを作ろうという意識の部分が多いですね。



若い世代に関して何か特別アプローチしていることがあれば教えてください。

基本的には声掛けのスタンスをとっていて、スタジオを利用している学生さんがいたらライブを呼びかけたりしていて、その時には他の人との関わり方で温度差が出ないようにフラットに行っています。

人口が減少している函館でライブハウスを運営して感じる事があれば教えてください。

若い子はやっぱり減ってきていると感じていて、認知されていないのかなと思いつつ。色々情報があふれていたり、函館でアンテナを張っている人が少なくて、ライブの情報が届いていないのかなと思います。

今後の展望などがあれば教えてください。

僕らは変わらず、ずっと函館の音楽業界の電波塔であろうと思っていて、目標としては、函館から新たなアーティストの排出とそのサポートをしていきたいです。

2つの取材を通して

2つのライブハウスの取材を通して、どちらのライブハウスでも、函館で生きる若い世代の参加は重要な問題になってきていることが見えてきました。一方で、ライブハウスは実際に足を運び、音楽や空間を体感しなければ、多くの魅力を十分に知ることができない場所でもあります。休日に足を一步前に進めて、函館あうん堂や、函館ARARAなどのライブハウスに訪れてみてはどうでしょうか。

ご協力
函館あうん堂ホール
函館ARARA
ご協力誠にありがとうございました。

MIMIZ

あとかき

山田 敬汰

函館の若者が都市へ流出している現状を背景に、地域における「若者の就労」について取材を行いました。現場で伺った声は、函館の未来を考えるための貴重な手がかりとなりました。取材にご協力いただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。そして、私の記事が地域で働くことを考えるきっかけになれば幸いです。

小野 月滉

前期からテーマを派生させ、ワインという視点で取材・記事作成を行ってきましたが、共通した「函館に生きるモノ」というテーマと関連させることなど、さまざまな面で苦労もありました。しかし、多くの方々のご協力もあり、無事に記事を完成させることができました。ありがとうございました。

清水 癒月

テーマ決定、取材など記事を完成させるまでの過程には、多くの苦労もありましたがあっという間に後期の制作を終えることができました。本誌を通して「函館に生きるモノ」に由来した様々な函館を違った角度から見ることのきっかけになれば嬉しいです。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

金 優希

後期は前期と比べて、各々が調査したいことはあっさり決まった一方で、全体のテーマを決めるところでつまづいてしまったかなと思います。しかし、話し合い、お互いにアドバイスし合う過程で、より磨き上げられたものが出来上がったのではないかと感じています。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

川地 海生

MIMIZ第12号を読んでいただきありがとうございます。前回の反省を踏まえて活動しようと計画していましたが、今回もギリギリまでかかってしまい、見通しが甘かったと感じます。しかし、第12号を発行出来たことはとても嬉しく思います。こうして発行出来たのも沢山の方が協力してくれたおかげです。本当にありがとうございました。

高橋 羚

記事の作成を通して、チームでの協働、コミュニケーションの難しさを感じました。取材にご協力いただいた函館あうん堂ホール、函館ARARAの皆様をはじめ、記事作成にあたり支えてくださったすべての方々へ心より感謝申し上げます。また、最後までお読みいただいた読者の皆様にも感謝します。本記事が、函館のライブハウスへ足を運ぶきっかけになれば幸いです。

取材先

函館税関 総務部 税関広報広聴官 岩屋誠一様 若手職員の皆様

五稜郭タワー株式会社様

道南いさりび鉄道株式会社 高野様

北海道渡島総合振興局 産業振興部 商工労働観光課 上島様 山田様

株式会社はこだてわいん様

ド・モンティエユ&北海道様

市立函館保健所生活衛生課環境衛生担当様

NPO法人ニャン友ねっとわーく北海道様

函館あうん堂ホール様

函館ARARA様

編集室員

川地 海生

山田 敬汰

金 優希

清水 癒月

小野 月滉

高橋 鈴

指導教員

畠山 大

藤井 麻由

北海道教育大学函館校地域政策グループ 地域プロジェクト

道南地域くらし応援プロジェクト MIMIZ編集室

〒040-8567

函館市八幡町1-2北海道教育大学函館校

畠山研究室 TEL/FAX 0138-44-4248

Instagram



MIMIZ

